

# 全国中小企業動向調査結果

(2022年1-3月期実績、4-6月期以降見通し)

## 小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある

(前回)新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲52.8となった。  
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲43.6となった。  
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲43.1となった。  
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲52.8 (-13.7)	▲43.6 (-15.0)	▲43.1 (-13.3)	▲35.5 (-13.7)	▲17.5 (-2.2)

## 中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

(前回)新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期から低下し、▲2.3となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から上昇し、6.7となった。  
来期以降も上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲11.8となった。  
来期以降はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
▲2.3 (-5.6)	6.7 (+0.8)	▲11.8 (-2.7)	▲0.4 (-1.3)	5.8 (-1.3)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:星田、立澤)  
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:小針、藤井)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

※資料編につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

## 目次

調査結果の概要	1
---------	---

### 【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

### 【中小企業編】

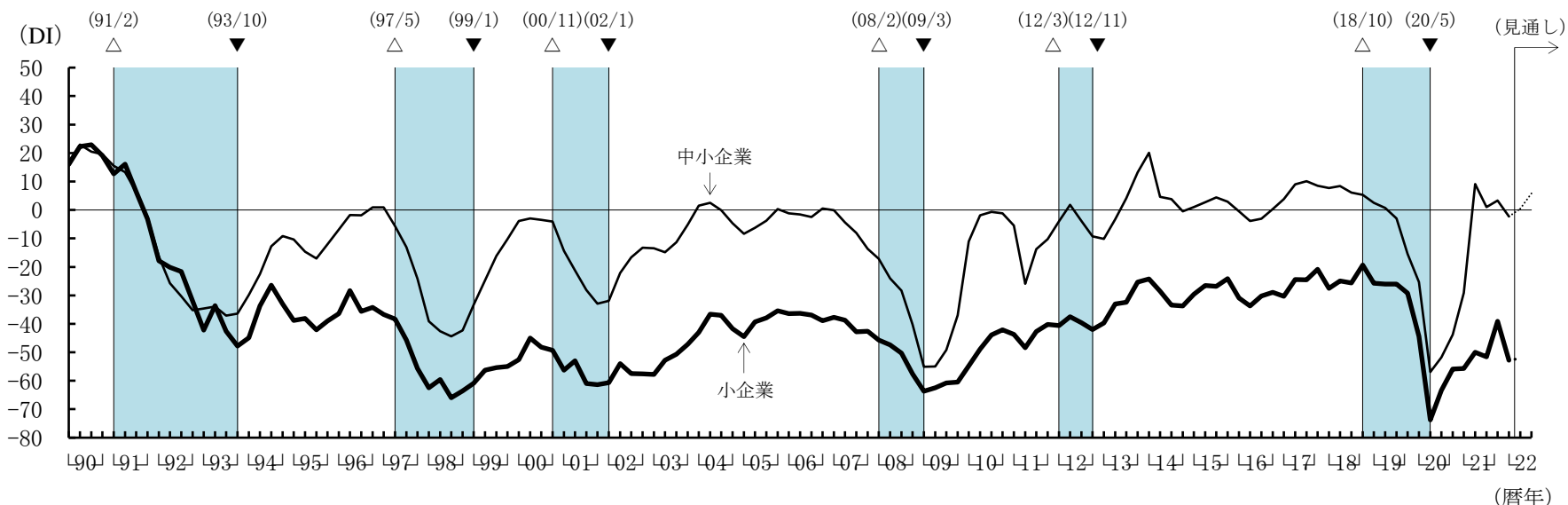
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

# 調査結果の概要

## 1 業況判断DIの推移

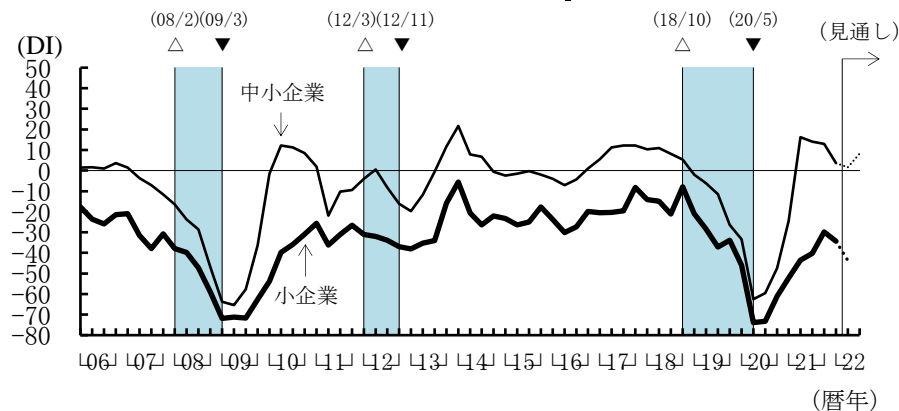
### ①全業種計

	20.1-3	20.4-6	20.7-9	20.10-12	21.1-3	21.4-6	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9
中小企業	▲25.4	▲56.9	▲51.8	▲43.8	▲29.1	9.1	1.0	3.3	▲2.3	見通し	見通し
小企業	▲44.4	▲73.7	▲63.3	▲55.9	▲55.6	▲50.0	▲51.6	▲39.1	▲52.8	▲52.2	-



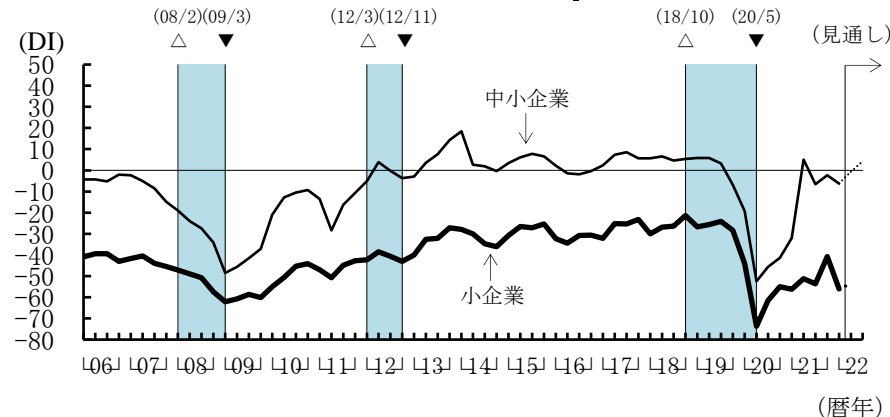
### ②製造業

	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9
中小企業	14.0	12.9	3.6	見通し	見通し
小企業	▲40.2	▲29.8	▲34.4	▲43.7	-



### ③非製造業

	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9
中小企業	▲6.6	▲2.4	▲6.2	▲0.7	4.3
小企業	▲53.6	▲40.8	▲56.0	▲53.6	-

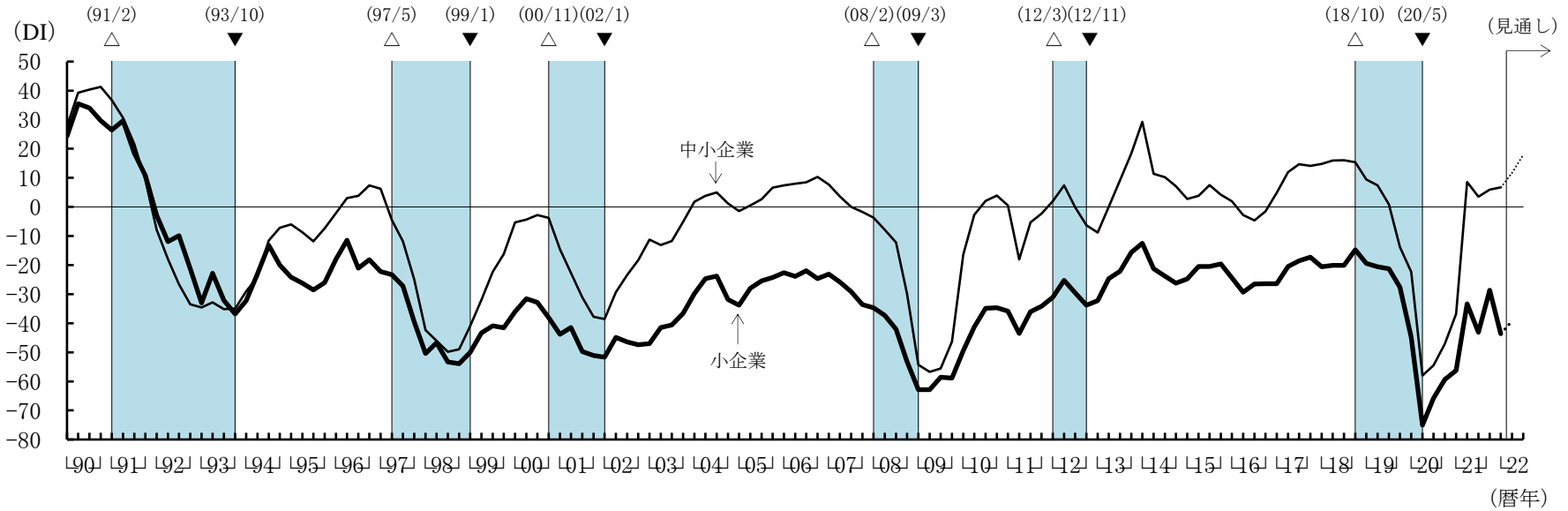


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

## 2 売上DIの推移

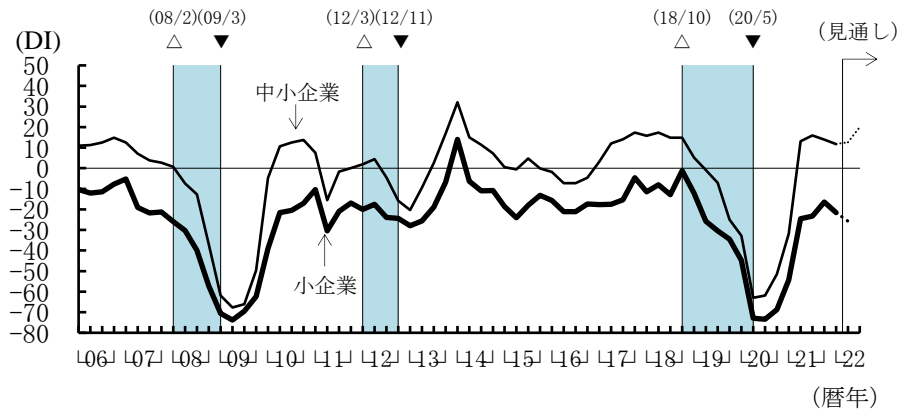
### ①全業種計

	20.1-3	20.4-6	20.7-9	20.10-12	21.1-3	21.4-6	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9
中小企業	▲22.4	▲58.0	▲54.5	▲47.1	▲36.9	8.5	3.5	5.9	6.7	見通し	見通し
小企業	▲44.8	▲75.1	▲65.8	▲59.3	▲56.2	▲33.3	▲43.1	▲28.6	▲43.6	▲39.2	-



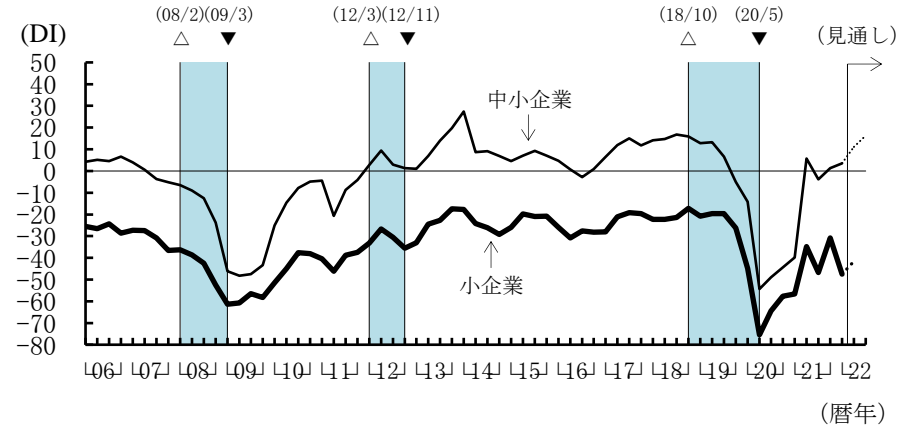
### ②製造業

	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9
中小企業	15.9	13.9	11.8	見通し	見通し
小企業	▲23.3	▲16.4	▲21.6	▲25.7	-



### ③非製造業

	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9
中小企業	▲3.8	1.3	3.6	見通し	見通し
小企業	▲46.7	▲30.8	▲47.5	▲41.6	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

# 小 企 業 編

(2022年1-3月期実績、4-6月期見通し)

小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある

## [調査の実施要領]

調査時点 2022年3月中旬  
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業  
 有効回答数 6,268 企業 [回答率 62.7 %]

### <業種構成>

		調査対象	有効回答数	
製造業	(従業者20人未満)	1,500 企業	938 企業	(構成比 15.0 %)
卸売業	(同 10人未満)	800 企業	585 企業	(同 9.3 %)
小売業	(同 10人未満)	2,450 企業	1,459 企業	(同 23.3 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	1,023 企業	(同 16.3 %)
サービス業	(同 20人未満)	2,000 企業	1,290 企業	(同 20.6 %)
情報通信業	(同 20人未満)	160 企業	78 企業	(同 1.2 %)
建設業	(同 20人未満)	1,100 企業	756 企業	(同 12.1 %)
運輸業	(同 20人未満)	190 企業	139 企業	(同 2.2 %)

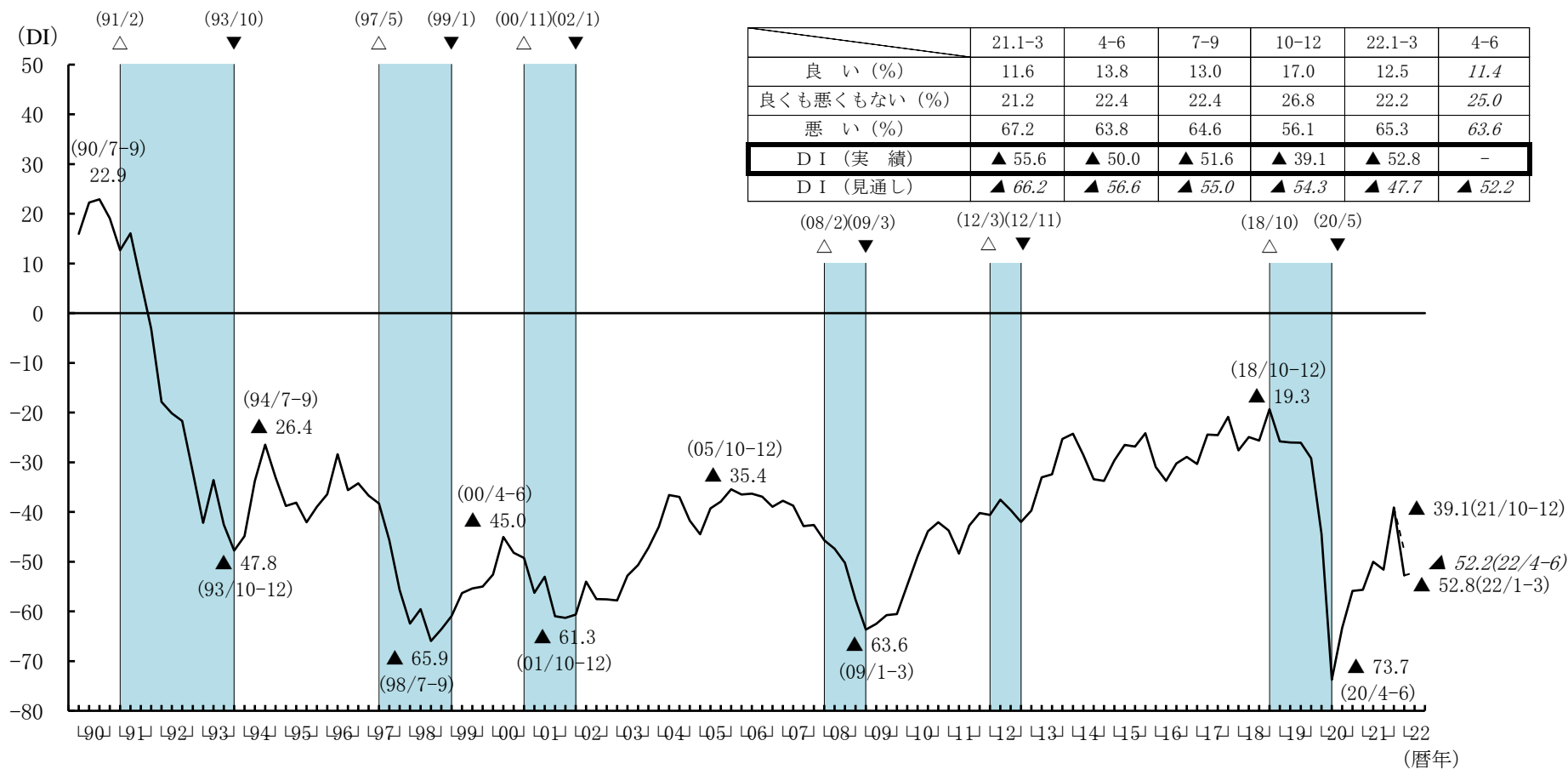
(参考)

法人	4,116 企業	(構成比 65.7 %)
個人	2,152 企業	(同 34.3 %)

# 1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2021年10-12月期）からマイナス幅が13.7ポイント拡大し、▲52.8となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小し、▲52.2となる見通しである。

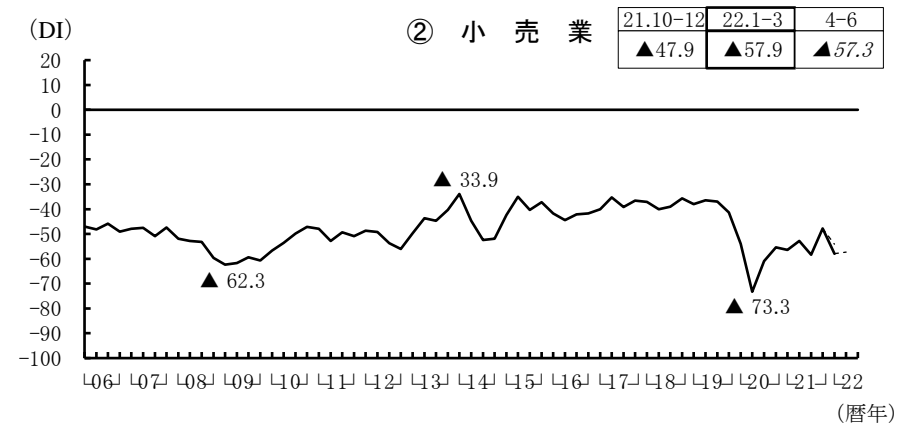
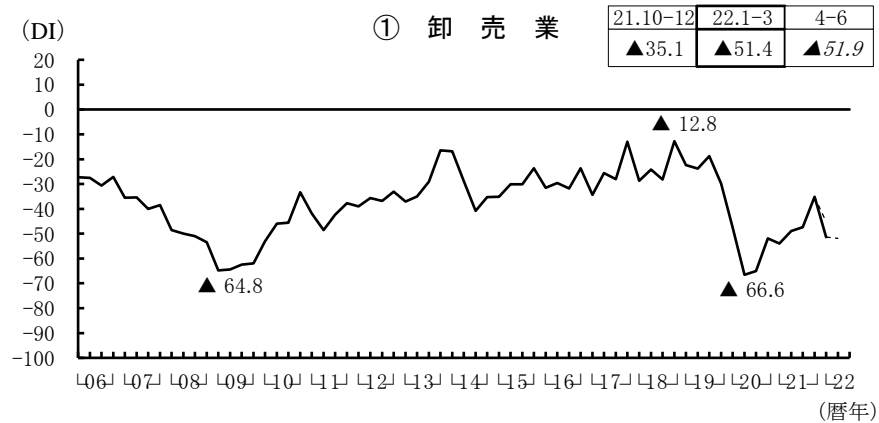
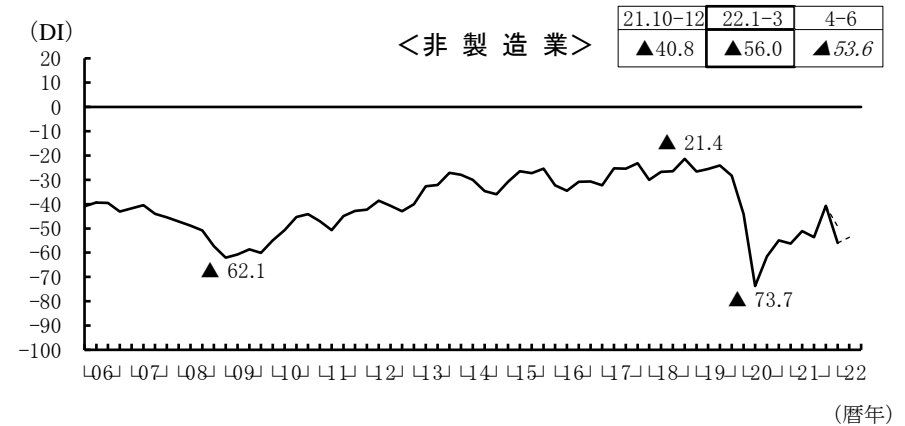
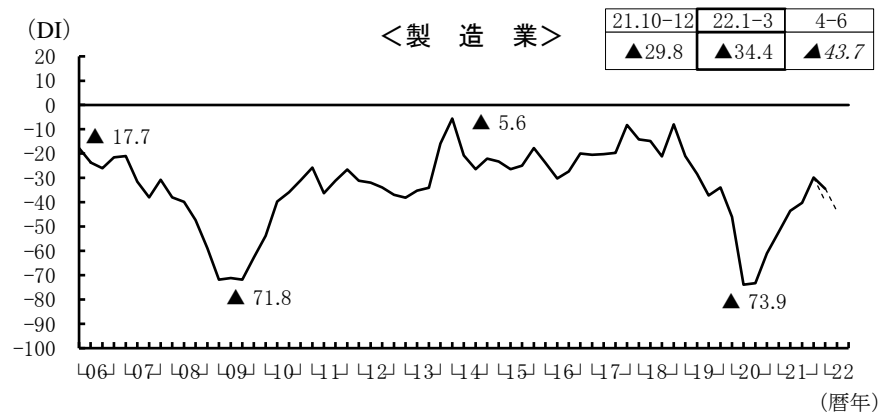
図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



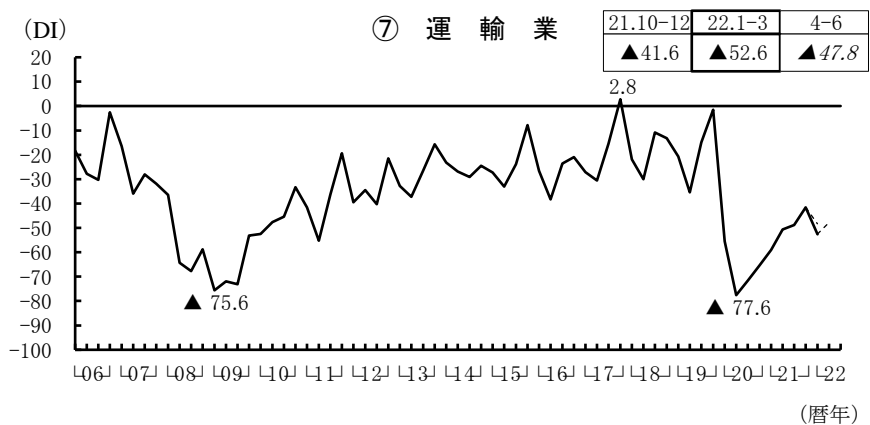
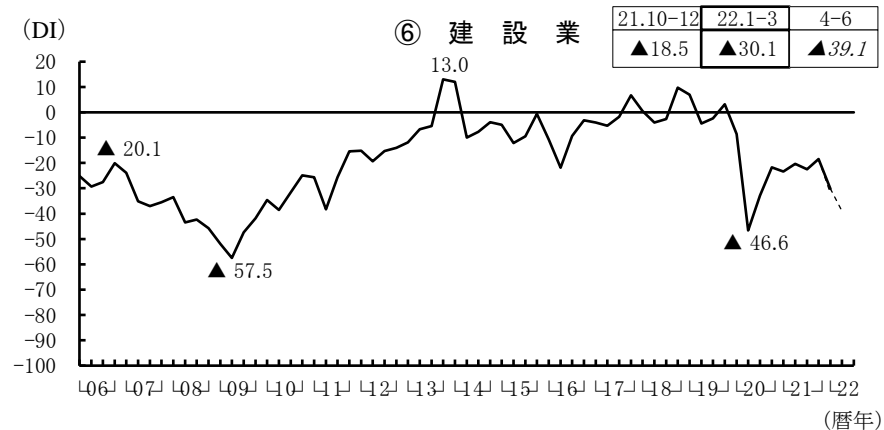
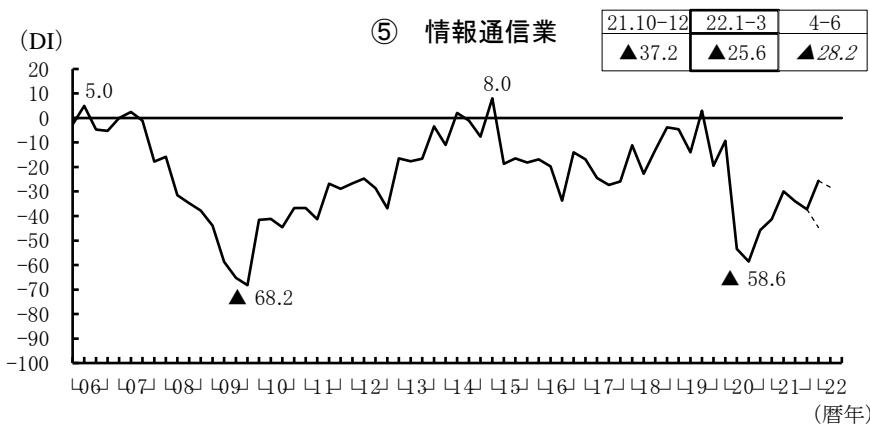
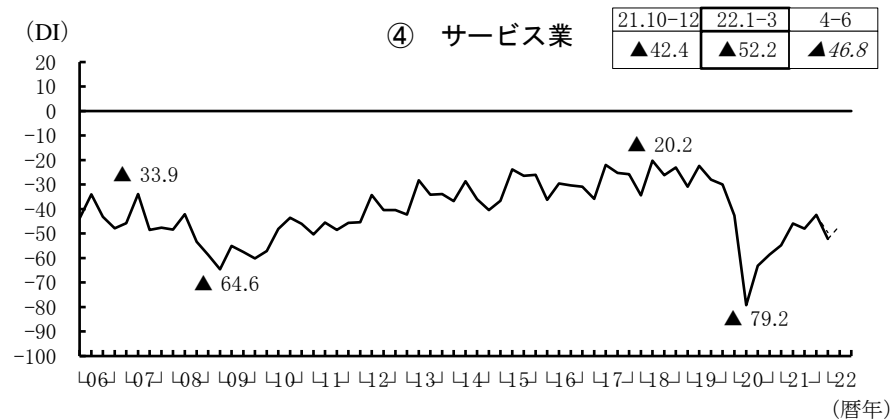
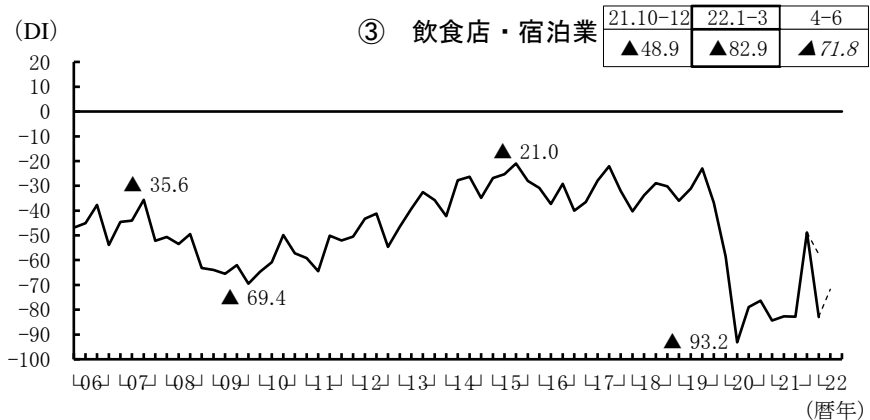
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

- 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲34.4）、非製造業（▲56.0）ともにマイナス幅が拡大した。非製造業を構成する大分類業種のうち、情報通信業を除く全ての業種でマイナス幅が拡大した。
- 来期は、製造業ではマイナス幅が拡大する一方、非製造業ではマイナス幅が縮小する見通しである。

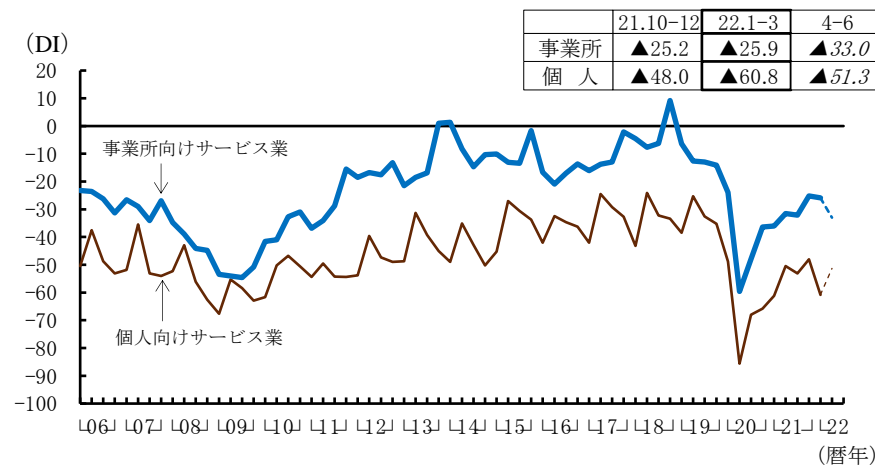
図－２ 業種別業況判断DIの推移





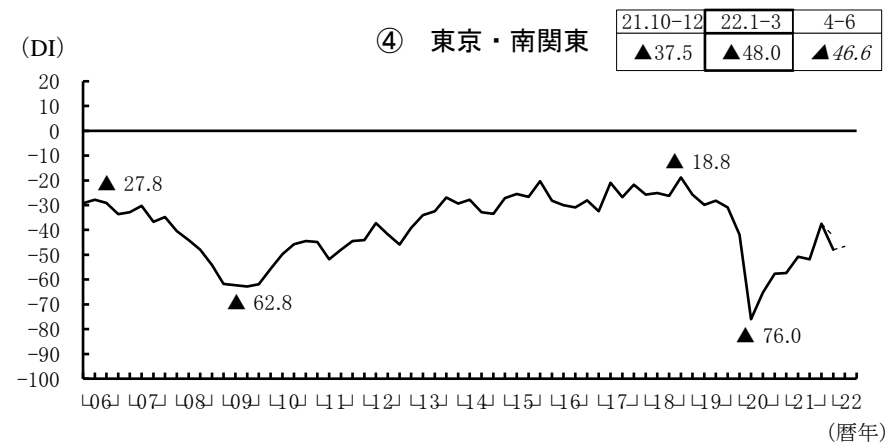
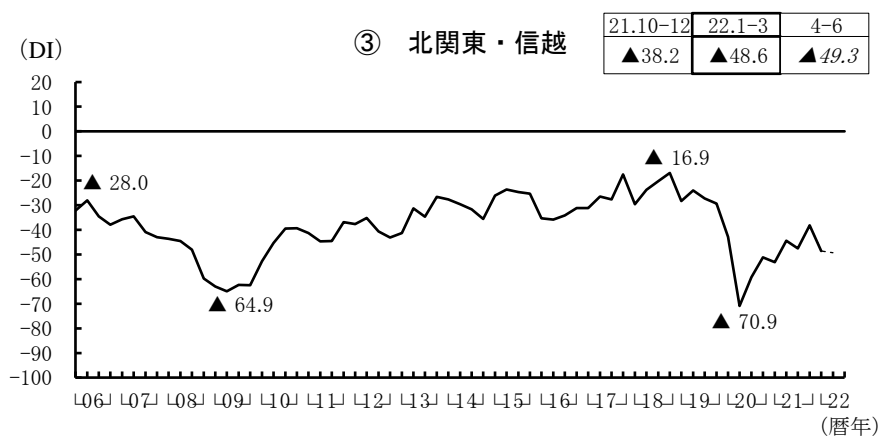
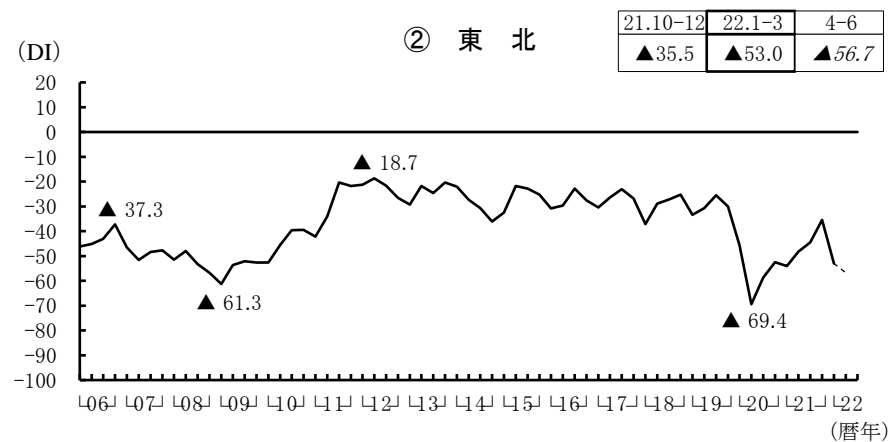
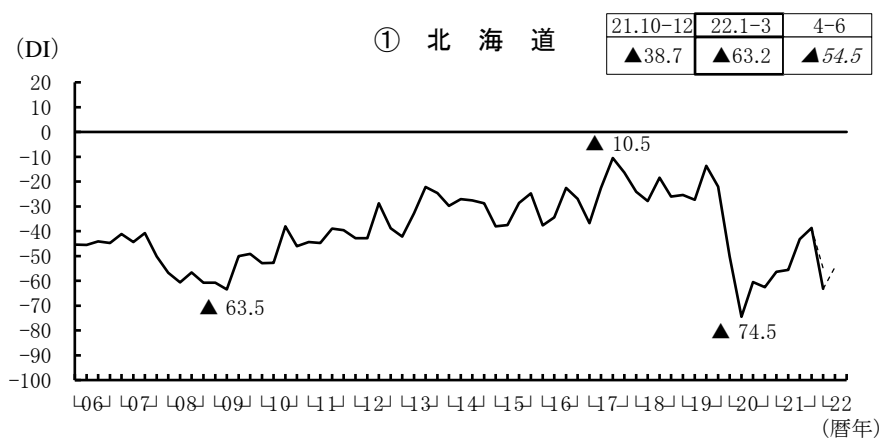


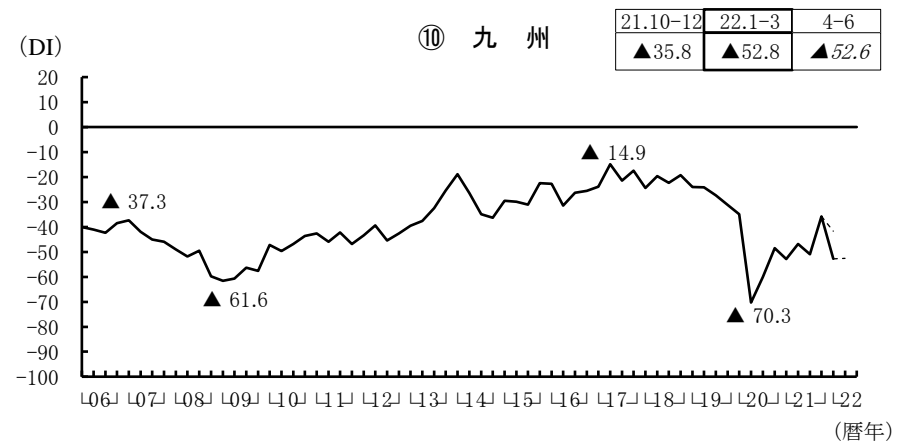
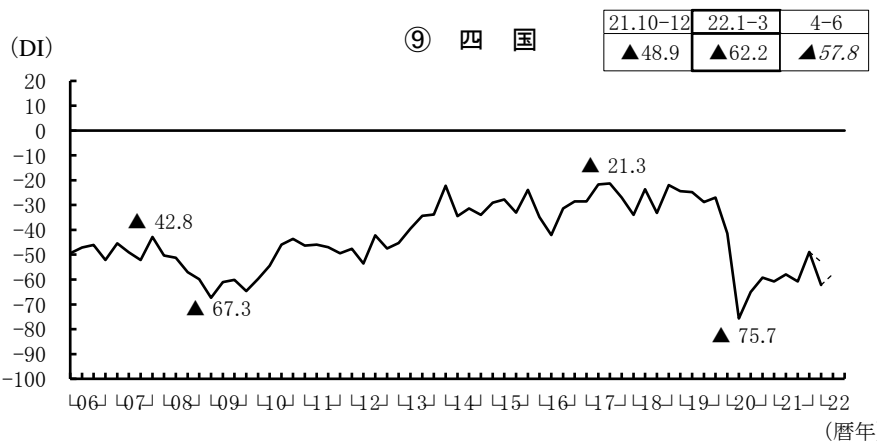
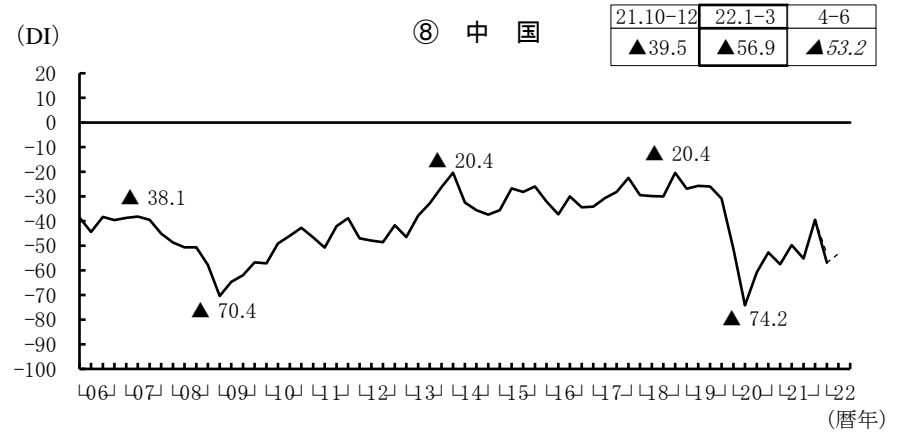
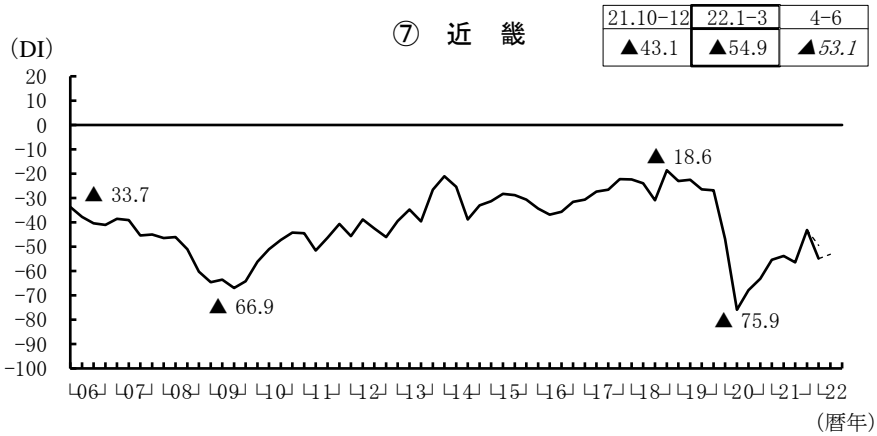
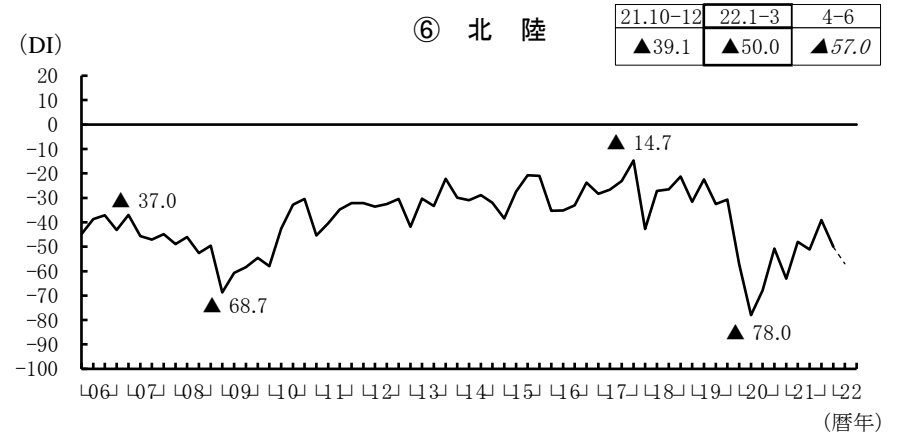
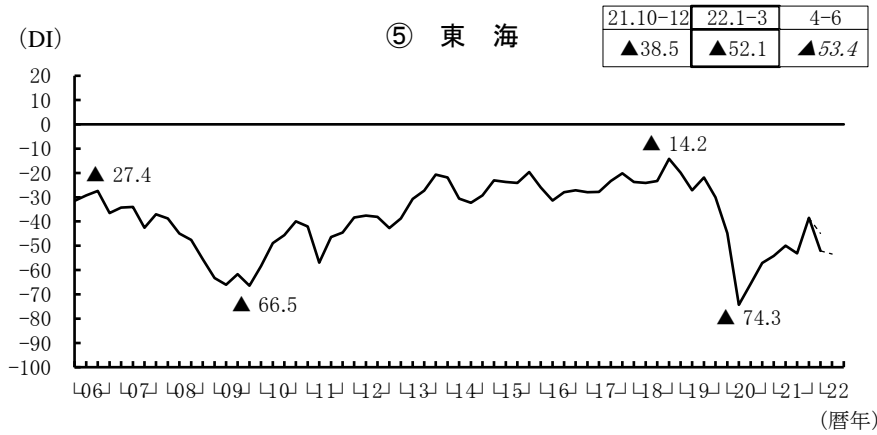
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、全ての地域でマイナス幅が拡大した。
- 来期は、東北、北関東・信越、東海、北陸を除く全ての地域でマイナス幅が縮小する見通しである。

図－3 地域別業況判断DIの推移

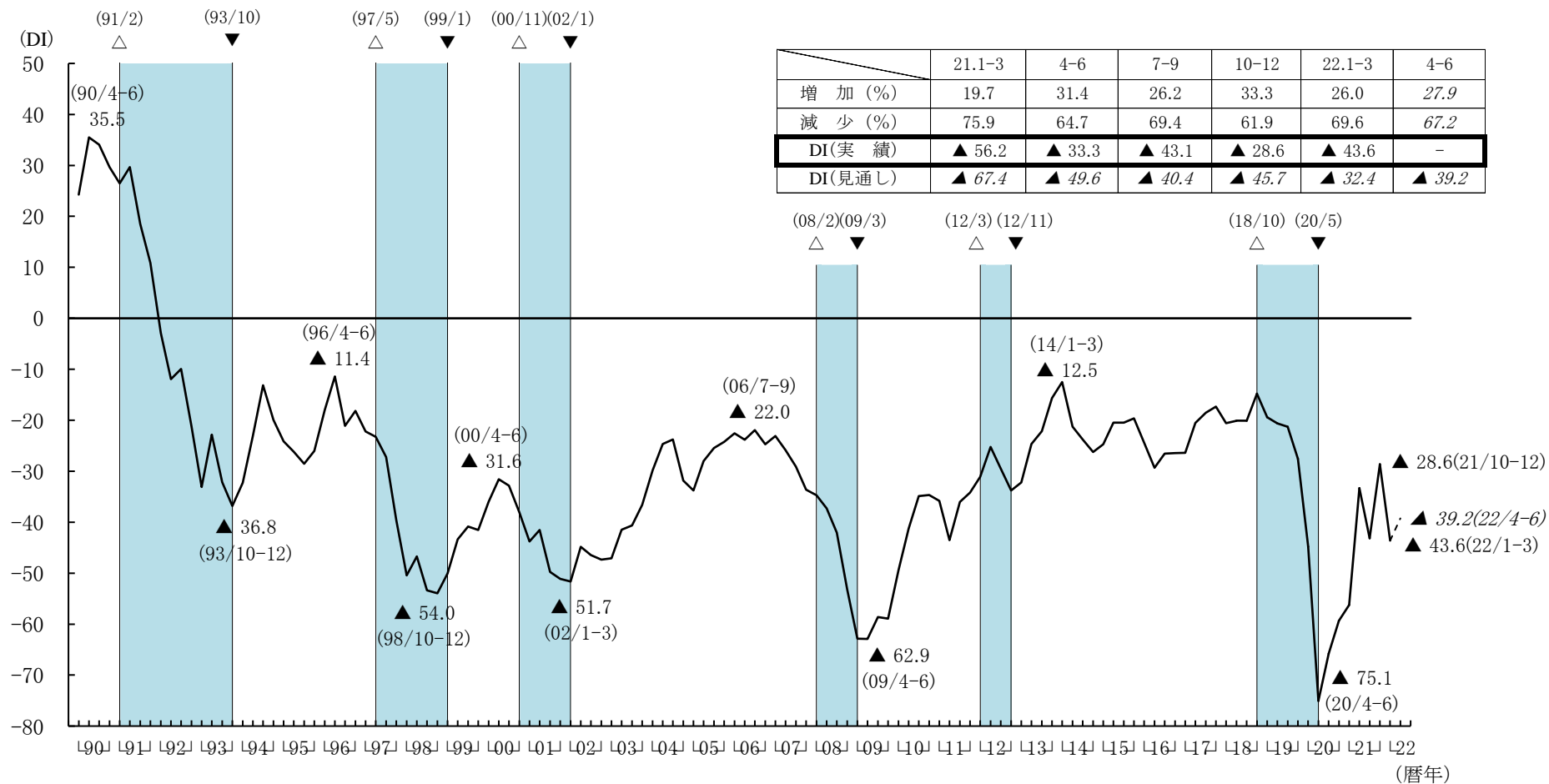




## 2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が15.0ポイント拡大し、▲43.6となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図－4 売上DIの推移（全業種計）



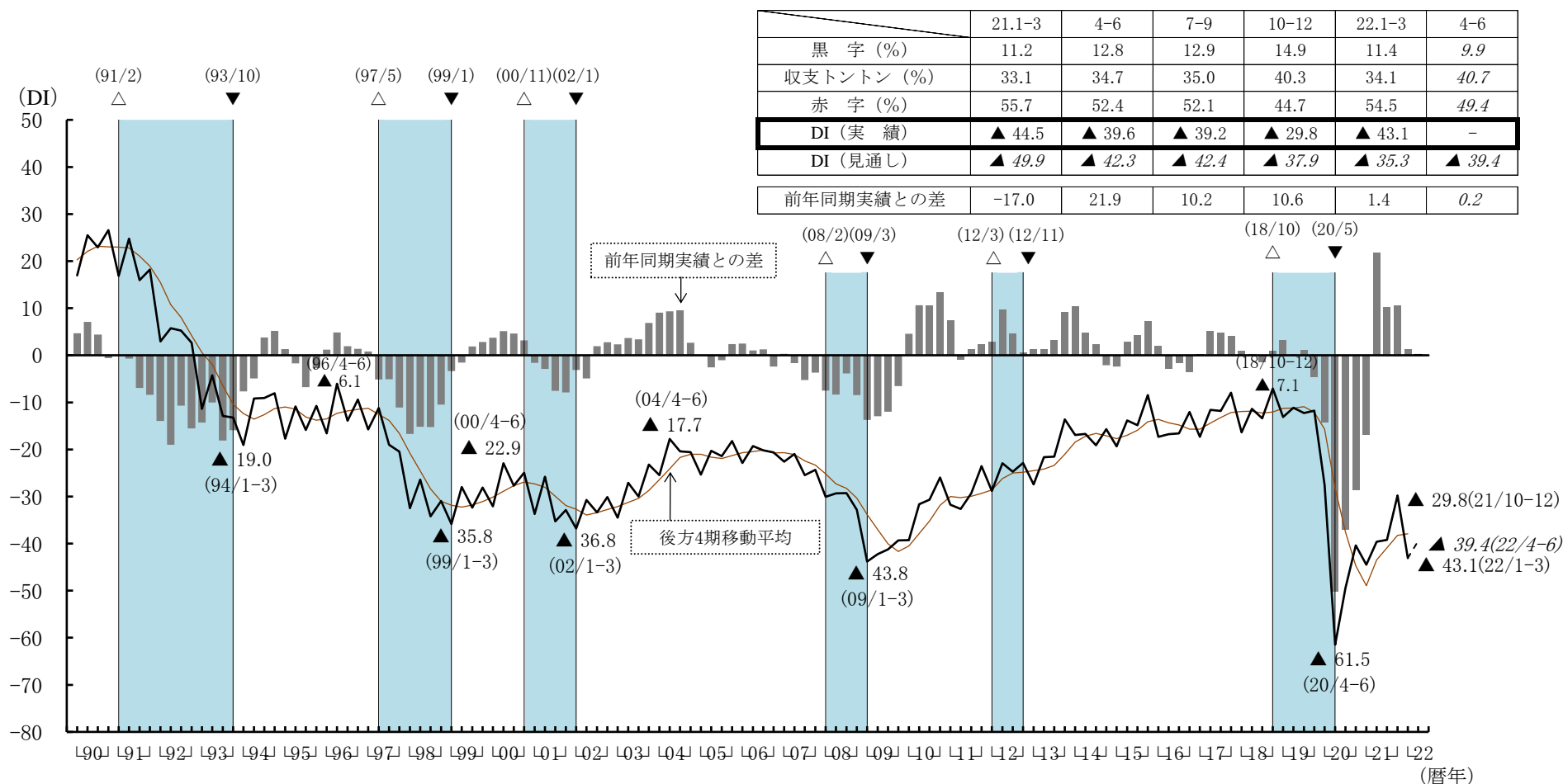
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

### 3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が13.3ポイント拡大し、▲43.1となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図－5 採算DIの推移（全業種計）

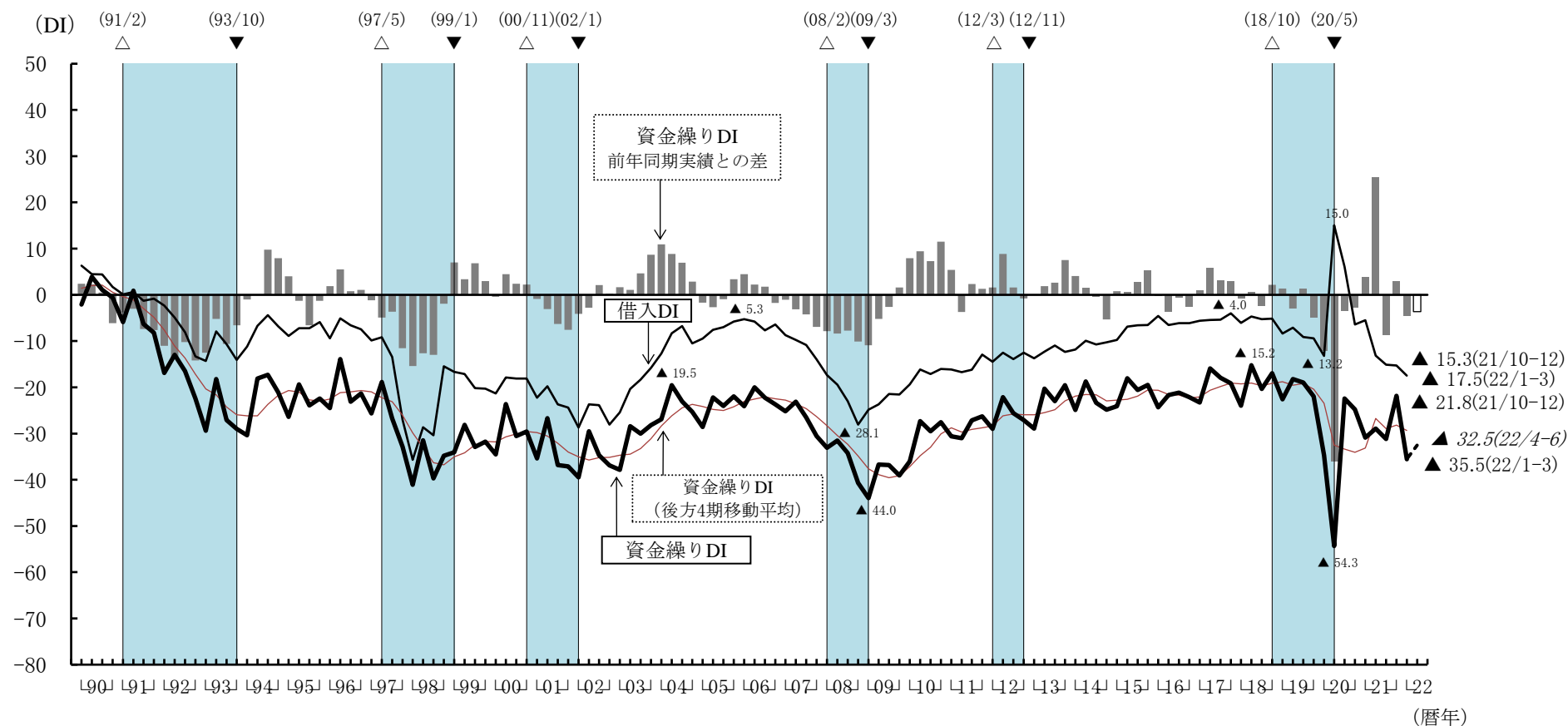


- (注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が13.7ポイント拡大し、▲35.5となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が2.2ポイント拡大し、▲17.5となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

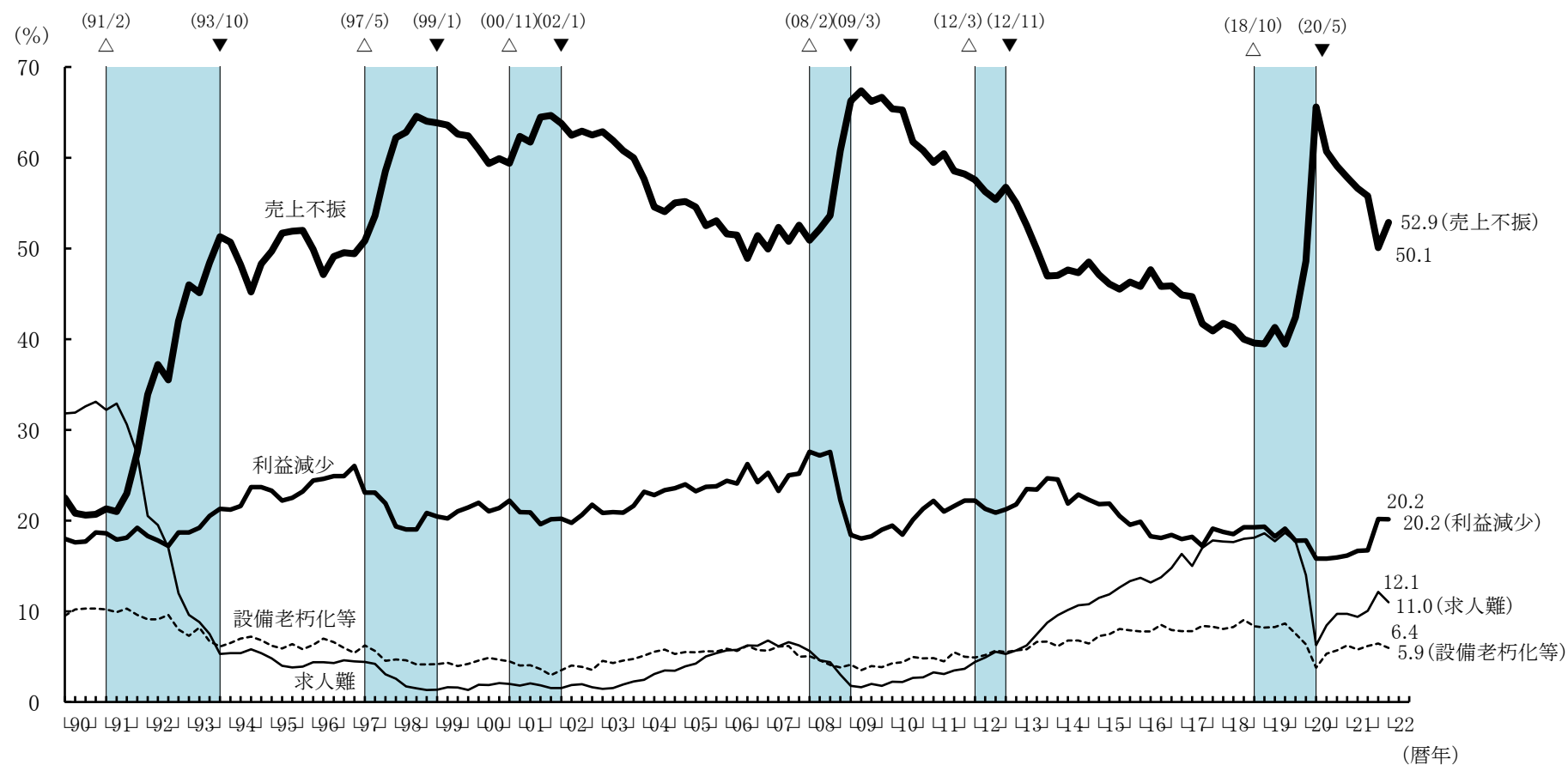


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 5 経営上の問題点

○ 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が52.9%と最も多く、次いで、「利益減少」（20.2%）、「求人難」（11.0%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

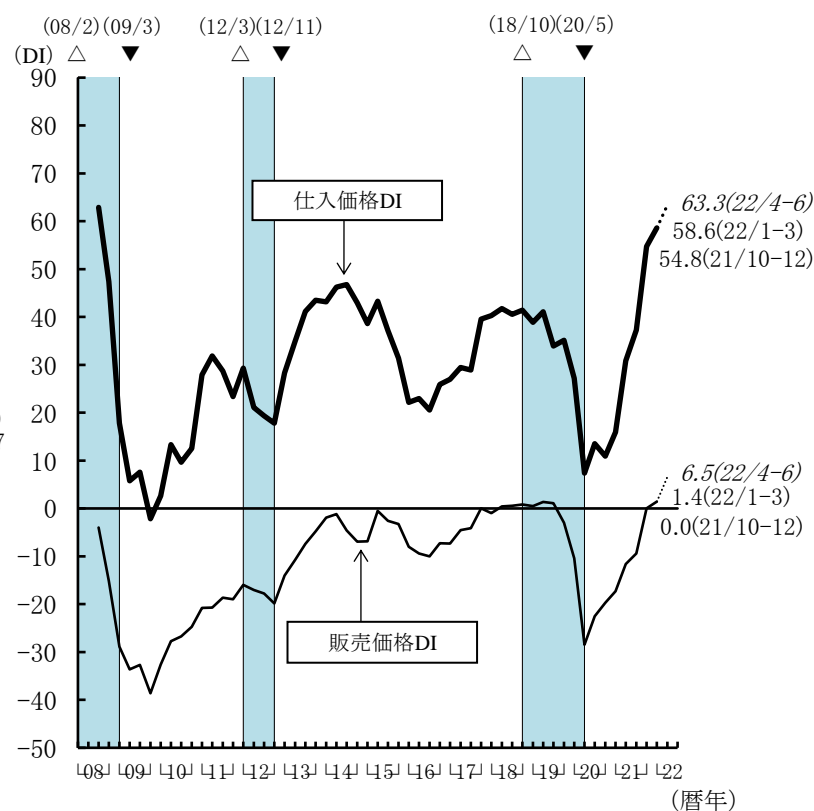
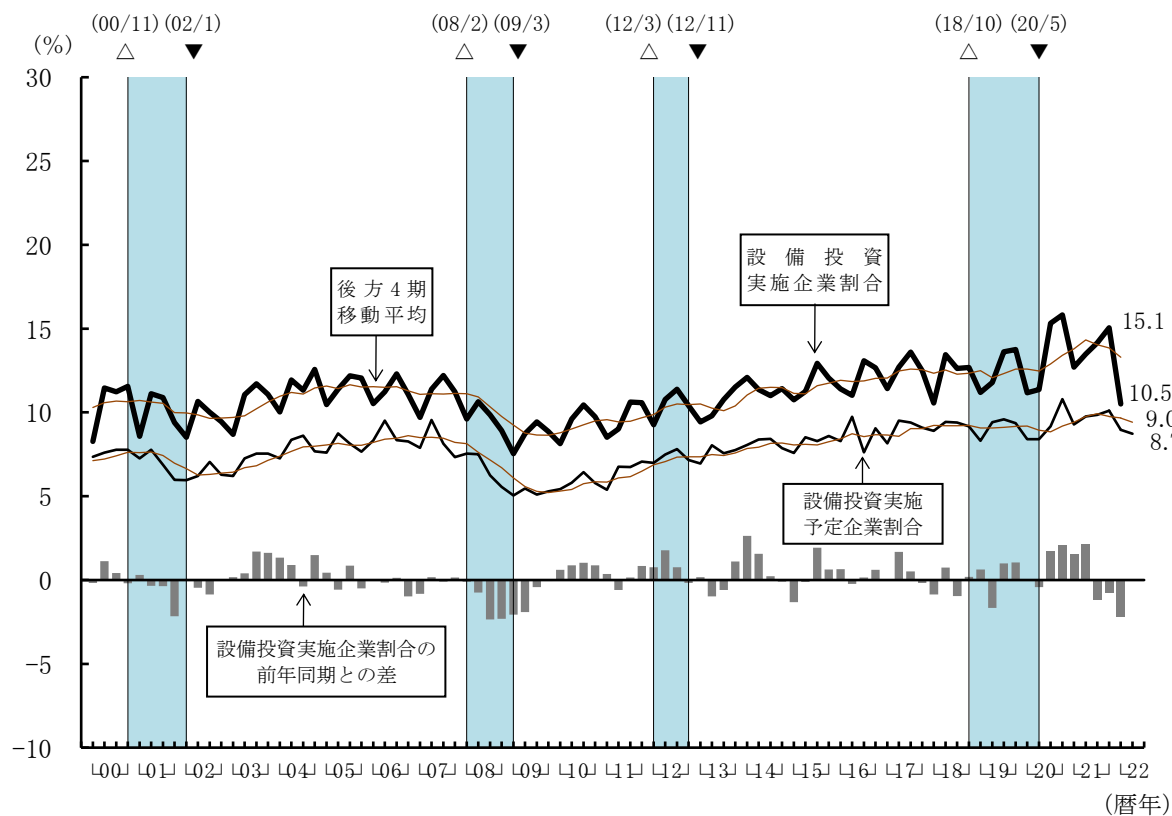


(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

## 6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から4.6ポイント低下し、10.5%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、1.4ポイント上昇し、1.4となった。来期も上昇する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、3.8ポイント上昇し、58.6となった。来期も上昇する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計） 図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 2008年7-9月期から調査を実施。



# 中 小 企 業 編

(2022年1－3月期実績、4－6月期および7－9月期見通し)

中小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により  
厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2022年3月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上）12,392社
有 効 回 答 数	5,421 社 [回答率 43.7 %]

### < 業 種 構 成 >

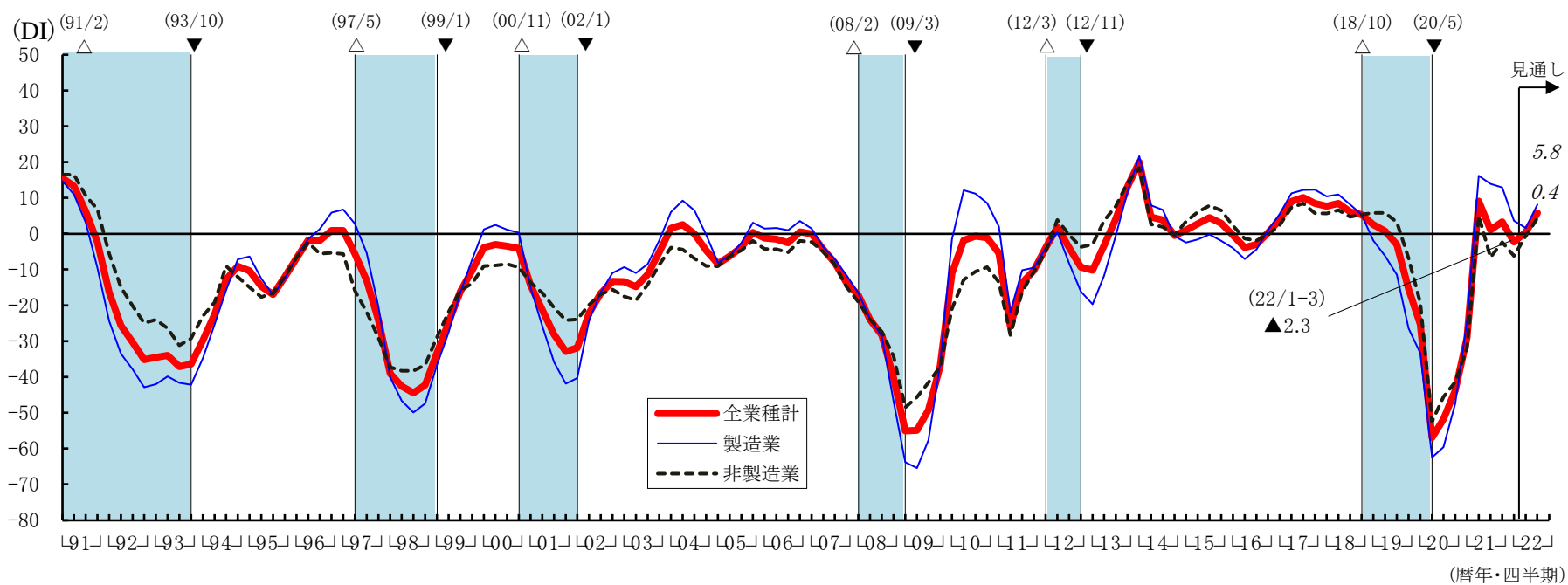
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	4,390 社	2,062 社	(構成比	38.0 %)
鉱 業	17 社	9 社	( 同	0.2 %)
建 設 業	1,195 社	549 社	( 同	10.1 %)
運送業(除水運)	746 社	356 社	( 同	6.6 %)
水 運 業	145 社	67 社	( 同	1.2 %)
倉 庫 業	61 社	26 社	( 同	0.5 %)
情 報 通 信 業	359 社	126 社	( 同	2.3 %)
ガ ス 供 給 業	9 社	6 社	( 同	0.1 %)
不 動 産 業	674 社	264 社	( 同	4.9 %)
宿泊・飲食サービス業	673 社	223 社	( 同	4.1 %)
卸 売 業	1,654 社	725 社	( 同	13.4 %)
小 売 業	993 社	405 社	( 同	7.5 %)
サ ー ビ ス 業	1,476 社	603 社	( 同	11.1 %)

# 1 業況判断

- 今期（2022年1－3月期）の業況判断DIは、前期（2021年10－12月期）から5.6ポイント低下し、▲2.3となった。
- 来期（2022年4－6月期）は0.4と上昇し、来々期（2022年7－9月期）は5.8となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2021/1-3	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3 (前回見通し)	2022/4-6 (前回見通し)	2022/7-9
業況判断DI (季節調整値)	▲ 29.1	9.1	1.0	3.3	▲ 2.3 ( 10.8)	0.4 ( 14.0)	5.8
製 造 業	▲ 24.6	16.2	14.0	12.9	3.6 ( 14.6)	1.6 ( 13.6)	8.2
非 製 造 業	▲ 31.9	5.0	▲ 6.6	▲ 2.4	▲ 6.2 ( 9.0)	▲ 0.7 ( 14.3)	4.3



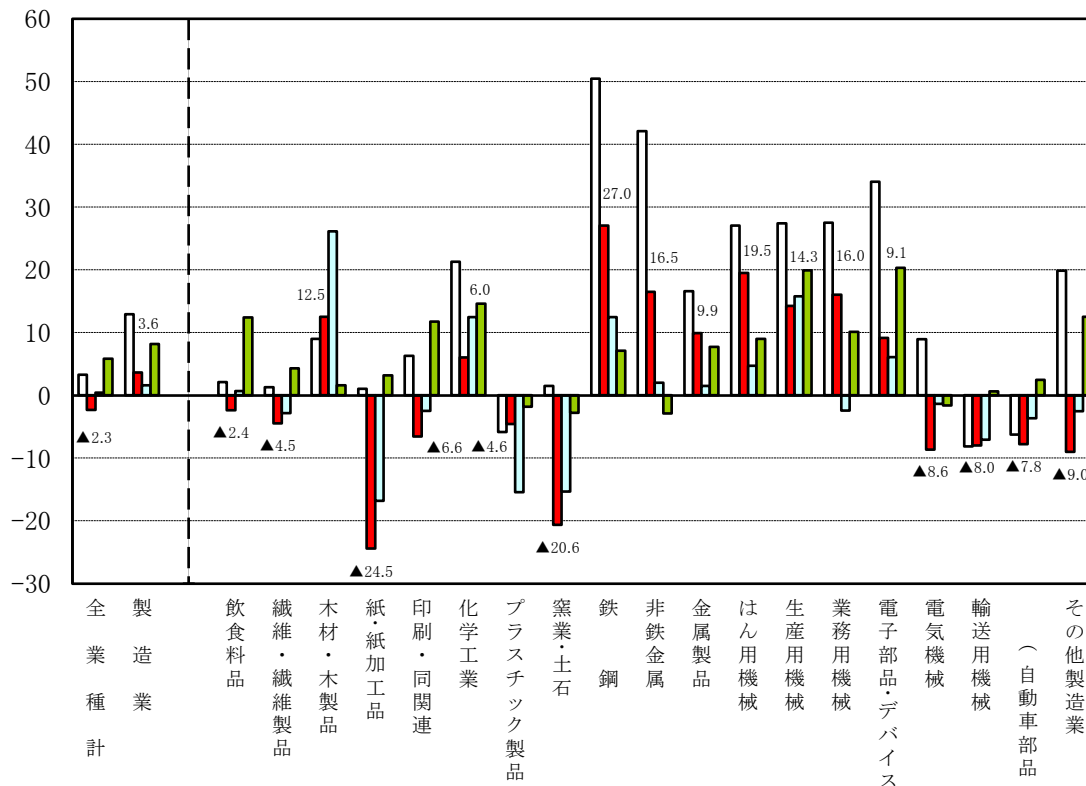
(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、木材・木製品、プラスチック製品等が上昇した。一方、その他製造業、非鉄金属等は低下した。
- 非製造業は、情報通信業、運送業、建設業等が低下した。

図－２ 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

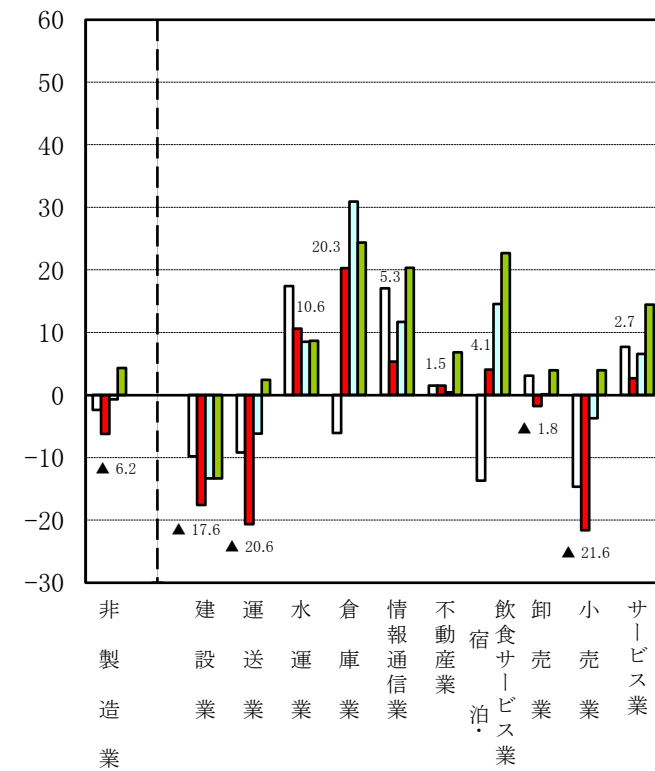


－製造業－  
(DI)



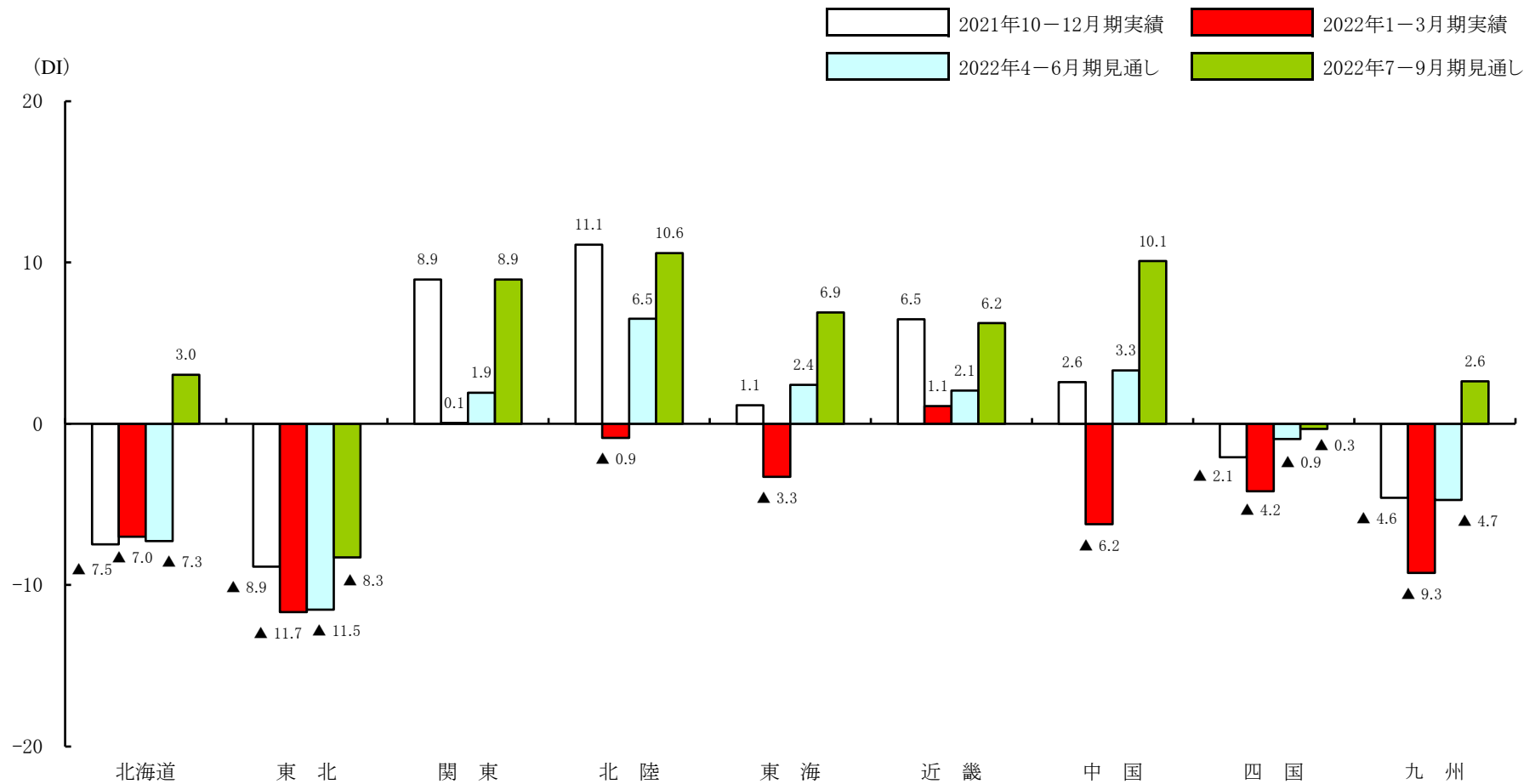
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－  
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、今期は北海道を除く全ての地域で低下した。
- 来期は、北海道を除く全ての地域で上昇する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

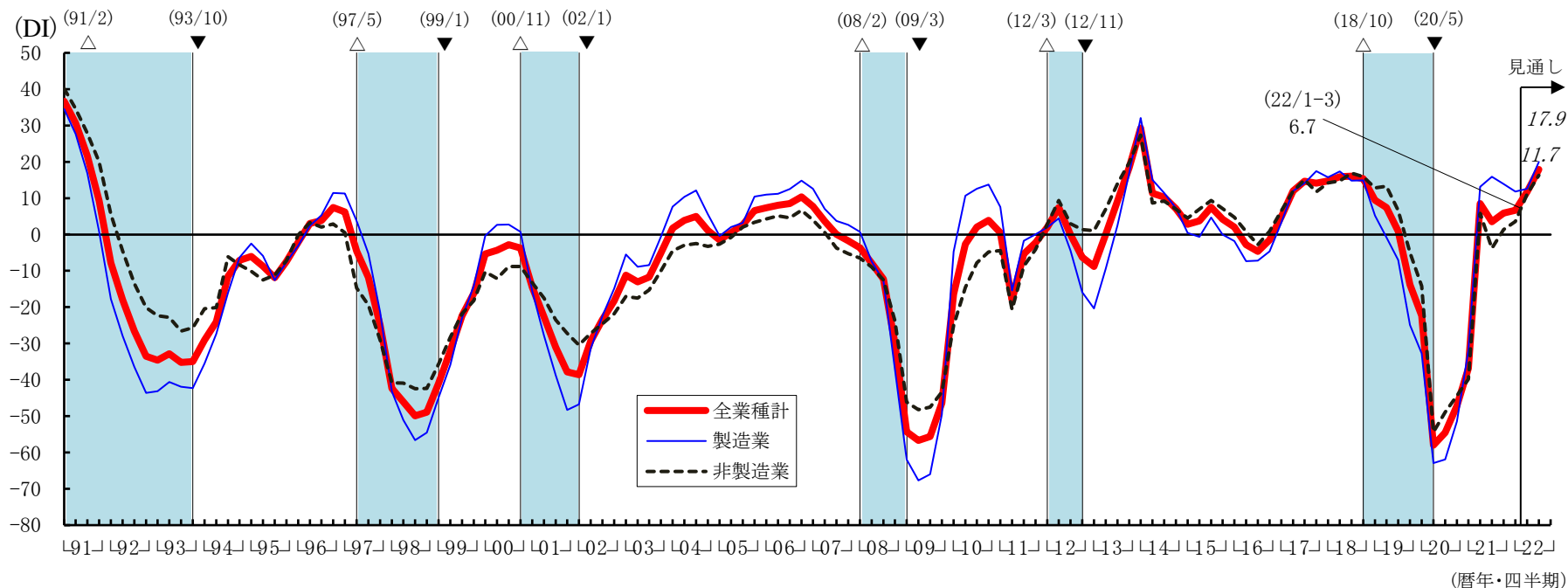


## 2 売上

- 今期の売上DIは、前期から0.8ポイント上昇し、6.7となった。
- 来期は11.7と上昇し、来々期は17.9となる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2021/1-3	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3 (前回見通し)	2022/4-6 (前回見通し)	2022/7-9
売上DI (季節調整値)	▲ 36.9	8.5	3.5	5.9	6.7 ( 19.2)	11.7 ( 20.7)	17.9
製 造 業	▲ 31.9	13.1	15.9	13.9	11.8 ( 20.8)	12.6 ( 19.8)	20.0
非 製 造 業	▲ 39.8	5.8	▲ 3.8	1.3	3.6 ( 18.5)	11.1 ( 21.7)	16.3



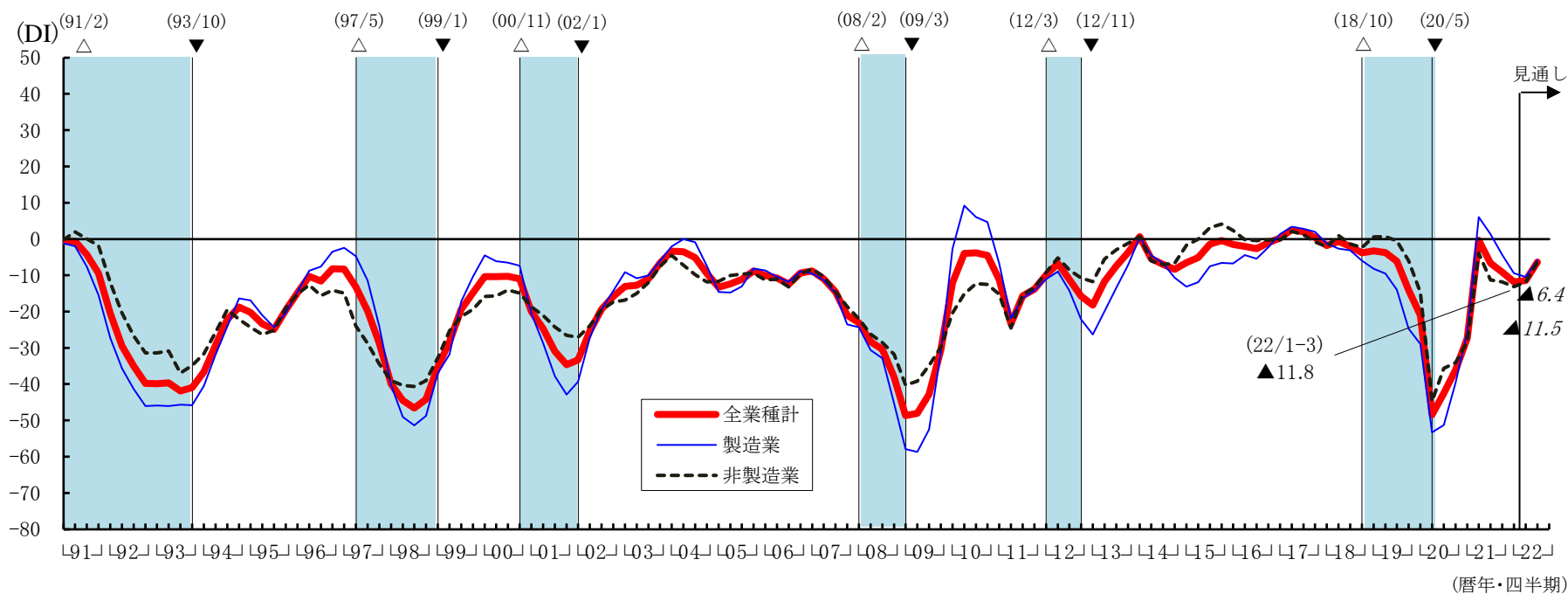
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

### 3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が2.7ポイント拡大し、▲11.8となった。
- 来期は▲11.5とマイナス幅が縮小し、来々期は▲6.4となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2021/1-3	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3 (前回見通し)	2022/4-6 (前回見通し)	2022/7-9
純益率DI (季節調整値)	▲ 27.3	▲ 0.3	▲ 6.7	▲ 9.1	▲ 11.8 (▲ 3.4)	▲ 11.5 (▲ 0.9)	▲ 6.4
製 造 業	▲ 25.6	6.0	1.3	▲ 4.4	▲ 9.5 (▲ 4.0)	▲ 10.5 (▲ 3.4)	▲ 5.8
非 製 造 業	▲ 28.3	▲ 3.9	▲ 11.3	▲ 11.8	▲ 13.2 (▲ 3.6)	▲ 11.9 ( 0.3)	▲ 6.4



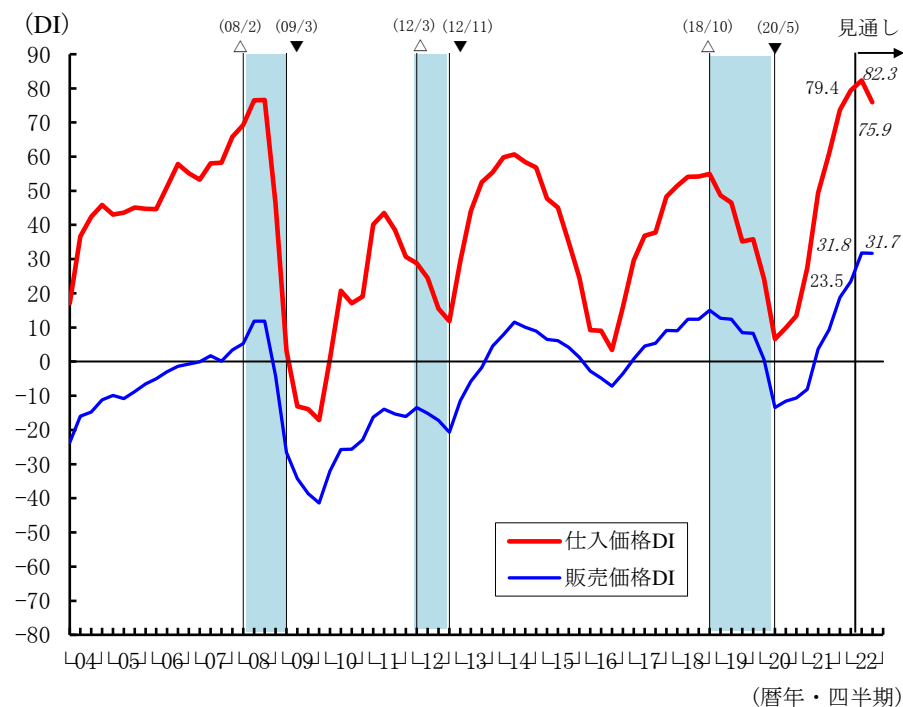
(注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

## 4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から4.7ポイント上昇し、23.5となった。仕入価格DIは前期から5.7ポイント上昇し、79.4となった。来期の販売価格DI、仕入価格DIは、ともに上昇の見通しである。
- 今期の資金繰りDIは前期から低下した。長期借入難易DI、短期借入難易DIもともに低下した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

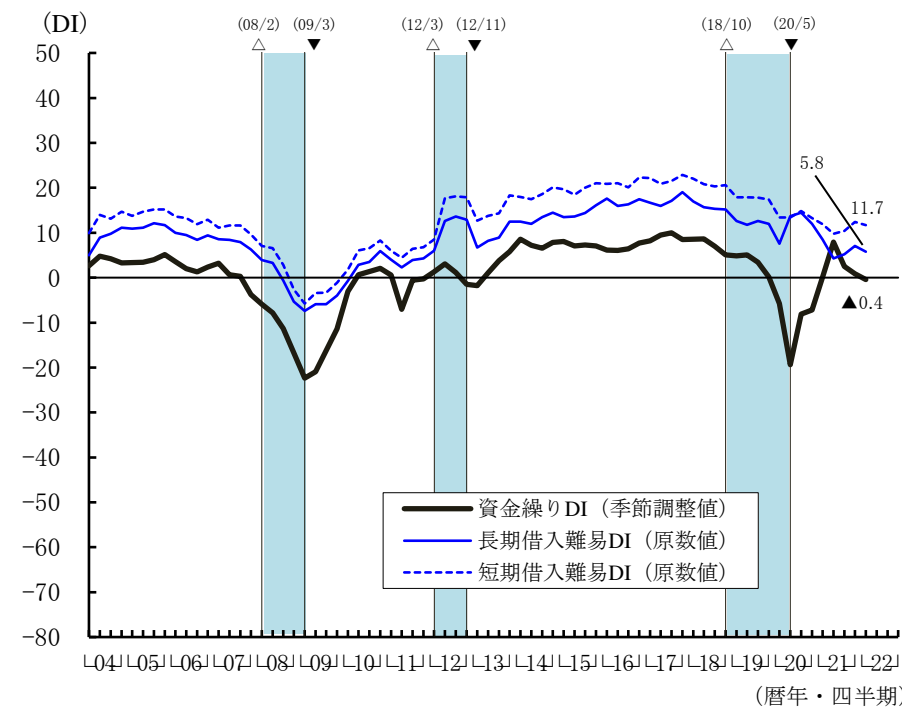
	2021/1-3	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9
販売価格DI	▲ 8.1	3.7	9.3	18.8	23.5	31.8	31.7
仕入価格DI	27.4	49.4	60.8	73.7	79.4	82.3	75.9



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。  
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2021/1-3	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3
資金繰りDI (季節調整値)	0.1	8.0	2.5	0.9	▲ 0.4
長期借入難易DI (原数値)	8.5	4.3	5.2	7.1	5.8
短期借入難易DI (原数値)	11.9	9.8	10.4	12.4	11.7



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。  
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。  
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

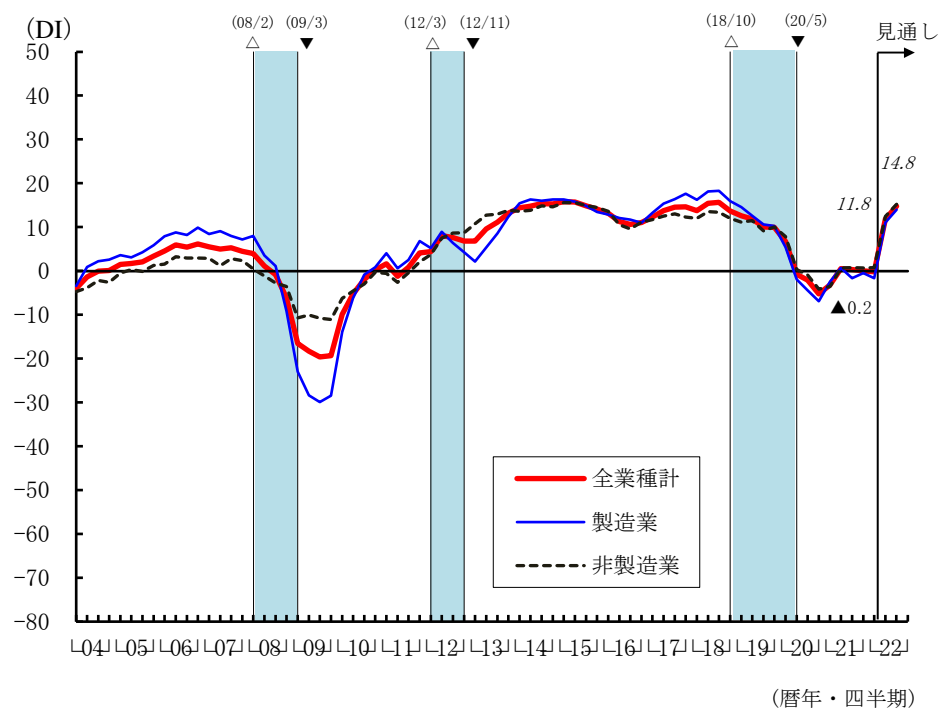


## 5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から0.2ポイント低下し、▲0.2となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から1.4ポイント上昇し、35.7%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

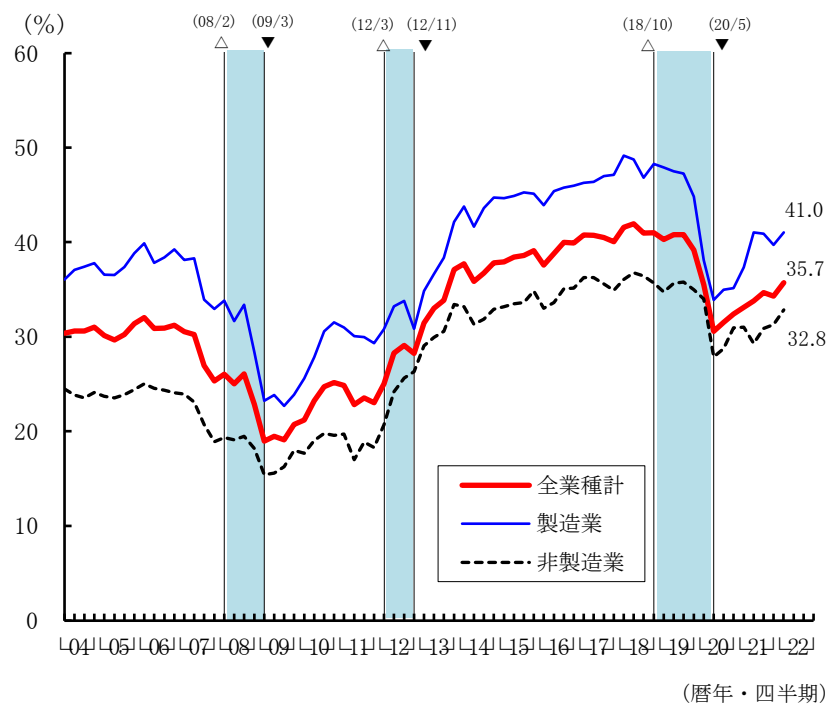
	2021/1-3	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9
全業種計	▲3.2	0.5	0.3	0.0	▲0.2	11.8	14.8
製造業	▲2.5	0.7	▲1.7	▲0.5	▲1.6	11.0	14.0
非製造業	▲3.5	0.7	0.8	0.7	0.7	12.4	15.2



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2021/1-3	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3
全業種計	33.1	33.8	34.6	34.3	35.7
製造業	37.3	41.0	40.9	39.7	41.0
非製造業	31.0	29.3	30.9	31.3	32.8



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が36.1%と最も多く、次いで、「原材料高」(28.6%)、「求人難」(17.4%)となっている。
- 前回調査と比べると、「原材料高」は3.4ポイント、「売上・受注の停滞、減少」は1.3ポイント上昇した。

図-10 経営上の問題点の推移

